

中央アジア・コーカサス地域等産業協力・企業間交流セミナー

2024年の中央アジアを展望する ～ウクライナ戦争2年目の地政学～

令和6年2月19日（月）
（一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO）

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、このたび当会では、経済産業省の助成を受け、掲題セミナーを2024年3月14日（木）に東京で、対面方式にて開催致します。

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵略により、世界の地政学的状況は文字通り激変しました。地域的に隣接する中央アジア・コーカサス諸国にとって影響はことのほか大きく、国際社会においてその戦略的位置の重要性が見直される一方で、石油・ガスをはじめとする同諸国の主要製品の市場でありかつ重要な投資家でもある西側諸国と、政治・経済両面における伝統的最重要パートナー・ロシアとの間の先鋭化する対立に直面、難しい対応を迫られています。

こうした状況理解に立ち、本セミナーでは「地域としての中央アジア」、すなわちアゼルバイジャンを含む同諸国を1つのエリアを見る観点から、現地よりお招きした専門家に政治・経済、また石油・ガス産業の現状を分析し、2024年を展望していただきます。ウクライナでの戦争開始以降、複雑な状況に対処するため同諸国の間では域内協力の機運が高まっているといわれ、また外部からも「中央アジア+One」的アプローチが強まっておりますが、こうした地域ブロック形成の可能性とその戦略的有効性を、現地の専門家はどのように評価するのでしょうか？

参加ご希望の方は、別紙1のプログラムをご確認のうえ**3月11日（月）まで**に下記参加登録フォームよりお申し込みください。議論を深めるため、同登録フォームにて各講師に向けた事前のご質問も承りますので、ご希望の方はご利用ください。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

◆日 時： 令和6年3月14日（木）10:00-12:30 ※12:00-12:30は講師とのネットワーキング

◆会 場： 東京會館7階「クインズ」ホール

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-1 TEL 03-3215-2111（代表）

<https://www.kaikan.co.jp/access/index.html>

◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO）

◆内 容： 別紙1参照 /◆言 語：日露同時通訳 /◆参加費：無料 /◆定 員：60名

※お申し込みは定員になり次第、締め切らせていただきます。

※オンライン配信等の予定はございません。

◆お申込み方法および締切：

3月11日（月）日本時間17:00までに、下記フォームよりお申し込みください。

※参加登録フォームリンク：https://jp-kz.org/entry/?post_id=5497

◆問合せ：（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所（担当：中馬、森、斉藤（いづみ））

TEL:03-3551-6218 E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

中央アジア・コーカサス地域等産業協力・企業間交流セミナー

2024年の中央アジアを展望する ～ウクライナ戦争2年目の地政学～

プログラム

2024年2月19日現在

時間	プログラム
09:30	開場
10:00-10:05	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデレータ開会挨拶・インストラクション <li style="padding-left: 20px;">輪島 実樹 (一社) ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 副所長兼調査部長
10:05-10:35	<ul style="list-style-type: none"> ■ 報告 ◆ 「中央アジアをめぐる新たなグレートゲーム：2024年のリスクと展望」 <li style="padding-left: 20px;">D. サトパエフ Kazakhstan Risks Assessment Group 代表
10:35-10:55	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「大転換：欧州で不要となったロシアのガスが、中央アジアへの出口を探す」 <li style="padding-left: 20px;">O. チェルピンスキー 『Petroleum』誌 編集長
10:55-11:25	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「新たな地政学的現実への対応：第二次カラバフ戦争とロシア・ウクライナ戦争がアゼルバイジャンに与える影響」 <li style="padding-left: 20px;">A. ゼイナロフ 『Profile Analytical Unit』社長
11:25-12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講師3名とモデレータによるディスカッション／質疑応答
12:00-12:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ 閉会／ネットワーキング（名刺交換会）

■ □ ■ 報告者紹介 ■ □ ■



ドシム・サトパエフ (Dossym SATPAYEV)

中央アジアおよびカスピ海地域の政治・経済リスク分析を専門とするカザフスタンの民間調査分析機関「Kazakhstan Risks Assessment Group」代表、政治学博士。TV・新聞等国内メディアに頻繁に登場し分析を披露、在野の論客として知られる。近著に『カスピ海資源ブームをめぐる課題：国内エリートとポリシー・メイキング』(2012)、『トワイライトゾーン：移行期の罫』(2013)、『カザフスタン：移行による試練』(2019)等。



オレグ・チェルピンスキー (Oleg CZERWINSKI)

2000年にアルマトィで創刊したカザフスタン石油・ガス分野の代表的なビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表。カザフスタン・ジャーナリスト連合メンバー、カザフスタン・ジャーナリズムアカデミー会員。近著に『カザフスタンの黒血：独立のオイル・ヒストリー』(2017)等。現在、ポーランド在住。



アザド・ゼイナロフ (Azad ZEYNALOV)

経済、政治、石油ガス分野を含め豊富な情報量を誇るアゼルバイジャン有数の通信社「Profile Analytical Unit」社長、歴史学博士。専門は社会学、歴史、経済史等。同分野に関する70以上の論者を発表している。1984年よりアゼルバイジャン科学アカデミー主席研究員。